

Kaikoukai
Rehabilitation
Hospital

『偕行会リハビリテーション NEWS』 vol. 56



【発行】

偕行会リハビリテーション病院

医療相談課

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883 FAX 0567-52-3885



あけましておめでとうございます
本年もよろしく願いたします



トピックス

クリスマス ミニコンサート

12月22日、クリスマス ミニコンサートを開催しました。ヴォーカリストの脇田万貴子さんによる歌やギター演奏を聴きながらの昼食となりました。ギターはサンタクロース姿の田丸司院長でした！！食堂での演奏だけでなく、病棟やリハビリ室にも演奏のためまわっていただきました。音楽に耳を傾け、手拍子をしてくださる患者様の姿もあり、ご家族様からは「手拍子ができるぐらいになってうれしい」と喜んでいただきました。

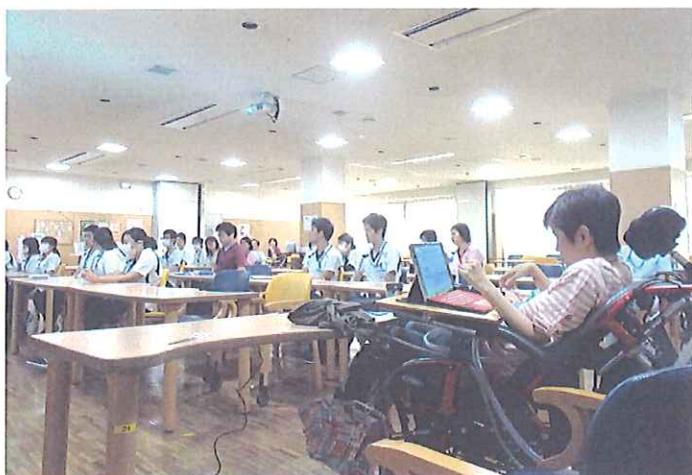


研修

11月6日、兵庫医科大学リハビリテーション医学教室の道免教授の講演が行われました。「運動学習から考察するリハビリテーション臨床」というテーマの連続シリーズで2回目のご講演いただきました。

講演会開催

10月22日、元職員（作業療法士）で現在NPO法人ピース・トランスの代表理事である押富俊恵さんを講師にお迎えし「意思決定支援について」をテーマに講演をおこないました。

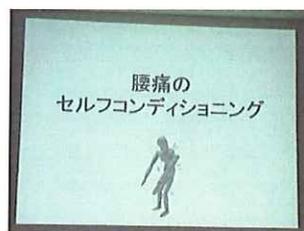


押富さんはNPO法人を立ち上げ、障害者問題を知ってもらうためのイベントの企画・運営などの啓発活動や障害を持つ方の在宅生活を支援する活動を行って見えます。

職員のためのセルフコンディショニング

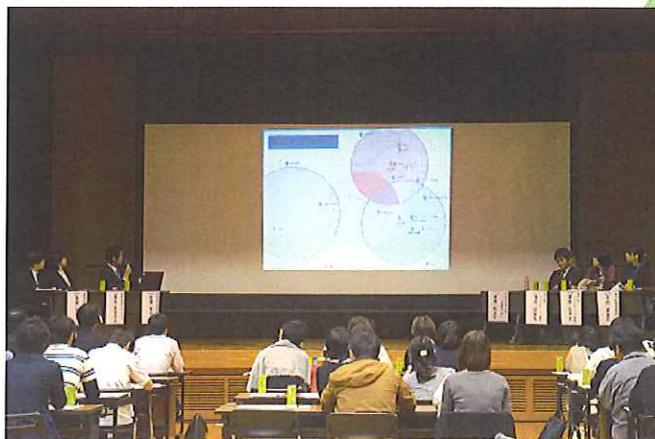
腰痛予防のためのセルフコンディショニングについて、職員向けの講習会を開催しました。奥山理学療法士から“優しく”指導をしてもらいながら、体験しました。

椅子に座りながらのストレッチを学びました。腰痛を防ぐために、普段から自分自身の身体を大切にしながら、ストレッチを続けていくようにしていきます！



病院の機能と役割について

10月23日十四山スポーツセンターで開催されました研修にて発表させていただきました。海部南部管内の関連事業所のケアマネジャーの方々を対象とした研修会で「医療機関の機能と使い分けに関する理解を深める～医療法人偕行会の例をひもとく～」をテーマとし、当院から澤田事務長、医療相談員の草野が発表し、当法人の関連医療機関からも発表がありました。病院の機能や役割について地域のケアマネジャーの方にも理解をしていただきながら、今後もよりよい医療の提供に努めていきたいと思っております。



リハビリテーション・ケア合同研究大会 in米子

10月3日～4日、『2018年リハビリテーション・ケア合同研究大会』が鳥取県米子市にて開催されました。当院からは、作業療法士青木理恵子が発表しました。

回復期リハビリテーション病院から在宅生活にむけての密な連携を必要としていることや、回復期のリハビリが終了しゴールではなく、その後の生活期における個々の生活に合わせた支援やノウハウ・手段を学び、知ることが今後も必要なのだと感じました。



発表者 作業療法士 青木 理恵子
『ADOCによる視覚情報を用いて自宅退院にむけて必要な作業の選択を図った一例』

ADOCによる視覚情報を用いながら患者様と目標を共有し、入院から退院までの変化をみながら関わった事例について発表しました。発表を通じ、在宅生活にむけて今後の支援の中でも活かしていきたいと思いました。

新入職員の交流会～ふたばの会 開催～

当院では毎年新入職員の交流を深めるため開催しています。

まずは夕食をとりながら、これまでの良かった事、困った事、今後の課題点などについて他職種で話し合いました。

その後、課長が企画したゲーム『絵しりとり』『ジェスチャーゲーム』をしました。景品もある為大変盛り上がりました！同年入職のスタッフ同士ですが、配属フロアや職種を越え、とても良い雰囲気でした。今後もお互いに連携をとり仕事ができるようにしていきます。



普段は仕事の話だけなので、ゲームなどを通じて他のスタッフと話ができる機会があり良かったです！



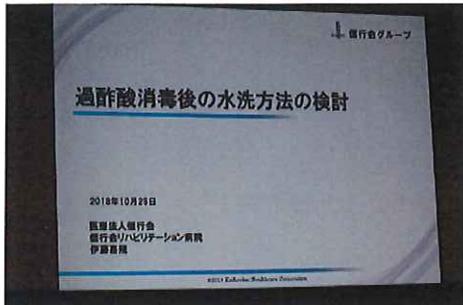
景品ゲットできました！！

帰りにお菓子も貰って帰りました！



～第17回偕行会透析研究会～

偕行会透析研究会が 10月28日(日) ウィンクあいち大ホールにて開催されました。当院から臨床工学技士の伊藤嘉規が発表をおこないました。



～腎友会 バス旅行～

9月16日海部共立クリニック・偕行会リハビリテーション病院透析センター両院の患者様によるバス旅行がありました。

湯の山温泉「希望荘」にて温泉と食事を楽しみました。



透析センターより

インフルエンザ予防しましょう!



寒さが増し、風邪が流行る季節となりました。

インフルエンザは咳やくしゃみでウイルスが飛ばされ、そのウイルスが鼻や口、目などの粘膜に付着することで感染します。廊下の手すり、ドアの持ち手等大勢の人が触れる場所はウイルスが付着しています。予防として、外出時はマスク装着、帰宅時のうがい、手洗い、洗顔も有効とされています。

睡眠不足やストレスで免疫力が低下し感染し易くなるので、しっかり休息を取る事も予防する為に重要です。



連続シリーズ

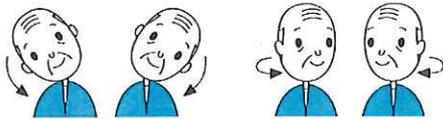
ナースリハについて
～摂食嚥下～

嚥下障害が起こると窒息、食べる楽しみがなくなる、栄養不良になる、脱水、肺炎などの弊害が起こってきます。嚥下障害の予防や改善のためには、首や肩、口や頬や舌の体操を食事の前に行うと効果的です。また、リラックスした姿勢でゆっくり食べることや、食べやすくする工夫が大切です。

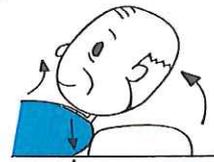
ナースリハでは、意識レベルの改善や摂食機能向上等を目的に摂食嚥下訓練を行なっています。

～メニュー 一例～

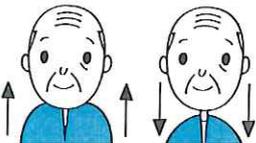
● 首の運動



● シャキア訓練



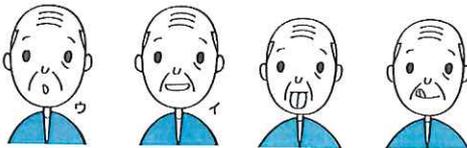
● 肩の運動



● 唾液腺マッサージ



● 口や舌の運動



誤嚥しても肺炎にならないために・・・



★口腔ケアの目的★

＊器質的口腔ケア＊

歯磨きなどにより口腔内の清潔を保持し細菌数を減らします

＊機能的口腔ケア＊

摂食嚥下関連筋群の廃用を予防し、唾液分泌による自浄作用を促します

口腔内の清潔と嚥下機能の改善



経管栄養で入院された患者さんのうち、約 70%の方が経口摂取に移行しています。今後も“食べる喜び”を患者さんと共有していきます。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
2 階病棟クリニカルチーフ
今井 志保



栄養士がおすすめする今日のレシピ！

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今回は「**パッククッキング**」のご紹介です。

ガス、水道、電気などのライフラインが使えなくなった時に、カセットコンロ、鍋、ポリ袋を使えば少ない水で簡単に調理ができます。非常食の備えは必要ですが、もしもの時に知っておくと便利です。

① 鍋に水、皿を入れる



【食材】

A：米 1/2 カップ 水 1/2 カップ

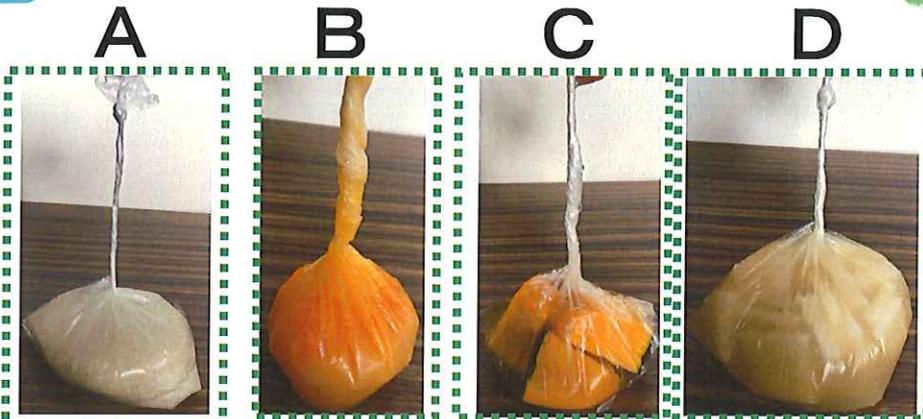
(分量以外の水で軽くもみ洗いで水を捨てる)

B：卵 1 個 麺つゆ 小さじ 1/4

C：かぼちゃ 一口にカット

D：大根 いちょう切り 水 1/4 カップ 味噌 小さじ 1

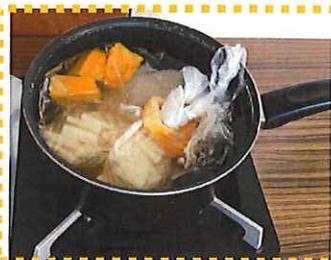
② 食材、調味料をポリ袋に入れる



ポイント！！

空気を抜いてから上のほうで結びます

③ 20～30 分火にかける



④ 完成♪ (ご飯は 10 分蒸らす)



災害時だけではなく、嚥下食、離乳食作りにも！
洗い物も少なく水の節約になり繰り返し使えます。

食事療法を行っている場合は
医師や管理栄養士などに相談し
ましょう

在宅支援リハビリテーション課の活動報告

名古屋市港区西部いきいき支援センターが主催する『いきいき出張講座』において、当院の古城理学療法士、松崎理学療法士、池場作業療法士が講師として、「転倒予防」「オーラルフレイル（口腔機能の虚弱）」というテーマで講義及び運動の紹介を行いました。

転倒予防では、自宅で転びやすい場所の紹介や、自宅で出来る、ながら運動（家事をしながら運動、テレビを見ながら運動）をご紹介させて頂きました。

オーラルフレイルでは、「オーラルフレイルとは何か？」を説明し、一緒に簡単なオーラルフレイルチェックを行いました。そして「自宅で出来る簡単な早口言葉」をご紹介させて頂きました。

今後もリハビリテーション専門職として、地域活動に関わり健康寿命の延伸の一助になればと思います。



【私たちの基本理念】

- 1、患者のための医療を目指します。
- 2、他の医療機関と連携して、地域医療の発展を目指します。
- 3、教育・研究を重視し、職員の自己研鑽に努めます。

医療法人偕行会

偕行会リハビリテーション病院

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883(代表)

FAX 0567-52-3885

URL <http://www.riha-kaikou.com/>

FB <http://www.facebook.com/riha.kaikou>

